

ひょうご



# みどりの風

2020.春号

No.48

(題字 井戸敏三会長)

## SDGsの達成に向けた私たちが出来ること

平成27年の国連総会において、平成28年から令和12（2030）年までの15年間に、世界の国々が取り組むべき目標として、「持続可能な開発目標（SDGs）」が合意されました。これは、地球を壊さずに、誰もがより良い生活をおくことができる世界を目指して、世界中が努力すべき事項を17の目標にまとめたものです。具体的には、生活関連の①貧困、②飢餓、③健康、④水と衛生、社会関連の④教育、⑤ジェンダー、⑩平等、⑪まちづくり、⑯平和、⑰協働、経済・産業関連の⑦再生可能エネルギー、⑧働きがいと経済成長、⑨インフラ、⑫責任ある生産と消費、環境関連の⑬気候変動、⑭海や⑮陸の豊かさがあります。

現在、多くの企業や民間団体が、それぞれの立場からSDGs達成への貢献を表明しています。その理由は様々でしょうが、例えば、世界共通の目標へ貢献するという自らの仕事への誇りと社会の認知、それらを踏まえた事業の継続・拡大が挙げられるでしょう。後者については、機関投資家等がESG（環境・社会・ガバナンスを考慮した）投資を志向する中で、各企業のESGを評価する上でSDGsへの取組が一つの指標となるようです。

そのような中、私たち森林・林業関係者もSDGsへの関心を深めています。それでは、私たちはSDGsの達成に向けどのように努力すべきでしょうか。私たち

の取組には3つのカテゴリーがあると思います。

まずは、分野を問わずに求められる取組です。例えば、安定雇用と労働安全①⑧、大気・水質・土壤汚染の防止③⑥⑭、男女機会均等⑤、省エネ⑦、障害者雇用促進⑧、廃棄物管理⑪、3R勵行⑫、CO2排出抑制⑯、希少生物保護⑮、外来生物侵入防止⑯などです。

つぎに、森林・林業分野の事業を適正に実施すれば、自ずと期待される貢献です。森林の多面的機能の発揮②③④⑥⑪⑬⑭⑯、山村地域での産業活動①⑧、持続可能な森林経営と木材のカスケード利用⑦⑫⑯などです。これらの目標への貢献は、他の分野に比べて森林・林業分野では比較的容易ですが、逆に言えば、やって当たり前ということです。

最後に、森林・林業分野の特質を活かす積極的な取組があります。森林資源を活用した新たな収入①⑧、木質バイオマスの効率的な利用⑦、木質化の推進⑯、森林を利用した新たなサービスの提供③④⑧などです。これらは、行政が進める林業の成長産業化や森林サービス産業の振興とも関係が深いと言えるでしょう。

以上は個人的見解ですが、現在、国土緑化推進機構では、研究会を設置してSDGsへの取組について検討しています。その結果を踏まえ、わかりやすい森林づくりとSDGsについての冊子を作成する予定です。

公益社団法人 国土緑化推進機構 常務理事 瀬戸宣久

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



# ひょうご森づくり活動賞受賞団体のご紹介

## 企業の森づくり部門 「生活協同組合コープこうべ」

### 企業の森活動 「コープの森・社家郷山」について

コープこうべでは、2008年、「兵庫県企業の森づくり制度」の第一号として「コープの森・社家郷山」の活動をスタートしました。当時は、京都議定書の約束期間がいよいよはじまり、森林整備が温室効果ガス削減にいくばくか寄与する…といったことが話題になっている時期でした。こうした背景もあり、コープこうべが取り組む「マイバッグ運動」で組合員からいただいたレジ袋代金を活用してすすめる環境の学習・活動に社家郷山の整備を選んだわけです。

しかしながら、「森の整備」といった分野に精通した者が組織内にいるわけでもなく、当初は何をどうしていいやら試行錯誤の連続でした。植生や生きものの専門家、あるいは学習活動のノウハウを持つNPO法人などと出会い、アドバイスをもらう中で、温暖化防止もさることながら、里山的環境を整備することにより生物多様性を保全すること、その必要性や、私たち人のくらしと自然環境とのつながりについての体験的な学びのたいせつさに思い至り、こ

れらに力を入れてきました。このことが評価され、2015年には、環境省の「生物多様性保全上重要な里地里山」(500箇所)のひとつにも選定していただきました。近年は、山・里・海の生態系のつながりや、防災といった視点も取り入れて学びの領域を広げています。

さて、「コープの森・社家郷山」の最大の特徴は、コープこうべの職員だけでなく、組合員や市民もいっしょになって学びや整備をすすめていることだと考えています。したがって、今回の受賞も、この活動にボランタリー精神旺盛に参加してくださっている方々の力なくしてはありえず、感謝し、ともに喜びたいと思います。

今後は、コープこうべだけでなく、地元の市民、学校、企業、行政など多くの人が関わり、盛り上げ、保全活動が持続可能なものとなっていけばと願っています。



下草刈りの様子



山と里の恵みで野外調理



生きもの調査



さあ、木を伐るぞ！



学習農地から社家郷山を望む

### つなぐ・広がる 緑のリレー・プロジェクト

## 「森の教室どんぐりくんと森の仲間たち in 兵庫県」が開催されました

令和2年2月19日～21日次世代を担う園児（幼稚園や保育園、認定子ども園）に対して、森林が持つ様々な役割や大切さ、人々の生活との関わりを楽しく、分りやすく伝え学んでいただける機会を提供する「森の教室・どんぐりくんと森の仲間たち」キャラバン隊が兵庫県（淡路島）に来訪しました。

今回取組いただいたのは南あわじ市立八木保育所、幼保連携型認定こども園千草こどもの園、洲本市立

堺保育園です。当日子どもたちはキャラバン隊の話をしっかりと聞き、一緒にダンスをし、最後にはすくすく育つことを願ってドングリの種を植えました。

※この取組は、公益社団法人国土緑化推進機構が株式会社ファミリーマートの店頭募金「夢の架け橋募金」を活用し主催するものです。





## 企業の森づくりのご紹介

企業の森づくり活動では、概ね春期と秋期の2回実施されている企業の皆さん（県内18社19力所の森林で活動）が多く実施されています。

参加の各企業は、社員の方または家族の参加が多くを占めています。家族の方の場合には、大人のプログラムとキッズプログラムに分けて整備後の森林内でロープ遊びや自然教室など楽しむプログラムに人気があるようです。

中でもロープ遊びでは、ロープエレベーターに人が集中し順番待ちの場面もありました。

一方、里山の森林整備では、有用広葉樹（こなら）などの植栽に人気があり実施されていますが、樹木の植栽後に森づくり活動で植栽後のコナラと他の雑木と見分けがつかなくなりハサミで刈り取られると言った事も見受けられました。

このような事を無くすために植栽木と雑木（刈り取る木）を見分けるためにピンクの「山林境界テープ」の購入を勧めます。このテープは、樹木に巻いても樹木の生長に伴い伸びたり切れたりして、樹木に食い込まないので重宝するものです。また、数年くらい残り良く目立つので役に立つと思います。

一巻き50m程度、約140円位で、森林組合連合会等で取り扱いられています。一度使用して見てください。



グローリー夢咲きの森から



黒田電気の森から

## ひょうご森のまつり2019 県立甲山森林公園(西宮市)で開催

兵庫県、西宮市、(公社) 兵庫県緑化推進協会の共催で「ひょうご森のまつり2019」を11月9日（土）兵庫県立甲山森林公園で開催いたしました。

「豊かな森から川、海へつながるめぐみ、つながるいのち」をテーマにさわやかな秋晴れのなか、ステージにて様々な式典が行われました。

永年、森づくりに貢献された方々や緑化作品コンクール入選の方々等の表彰や森林ボランティアの活動報告があり、式典開催を記念して植樹も行われました。

式典後は、NPO法人「森は海の恋人」より畠山重篤（はたけやましげあつ）理事長をお招きし、記念講演として「森は海の恋人 人の心に樹を植える」をテーマに森・川・海のつながりの観点から森林保全の重要性について、ご講演いただきました。

その他会場内には緑化作品コンクール入選作品展や木工体験ブース、ジビエ料理の販売等が並び、里山林整備体験も行われ、森の楽しさを体験できる一日となりました。



表彰式



森林ボランティアの活動報告



畠山理事長による講演



緑化作品コンクール入選作品展



里山林整備活動体験



# 令和元年度緑化作品コンクールの結果



緑化思想の高揚を図るため、県下の小学校の児童並びに中学校・高等学校の生徒を対象にコンクールを実施しました。

応募点数は、緑化ポスター原画の部1,348点、緑化標語の部1,839点、そのうち入選点数はポスター原画の部33点、標語の部18点でした。  
特に優秀な作品をご紹介します。



## 標語の部

### 小学生の部1席

加古川市立陵北小学校  
1年 島田 莉沙さん（応募時）

**「きをうえて  
100ねんさきの もりづくり」**

### 中学生の部1席

福崎町立福崎西中学校  
2年 松田 奈々さん（応募時）

**「受け継ごう  
緑のまちと みんなの笑顔」**

### 高校生の部1席

兵庫県立農業高等学校  
1年 長谷川 優苗さん（応募時）

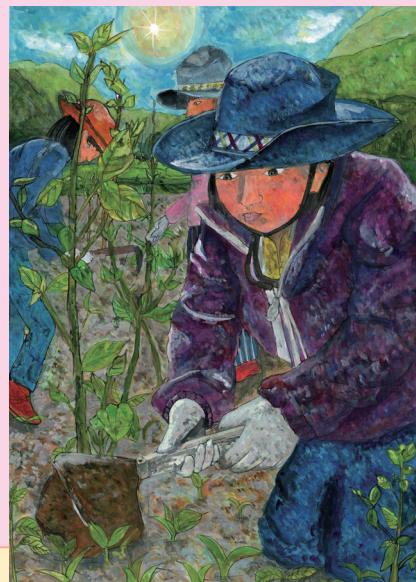
**「育もう  
小さな緑は 大きな未来へ」**

## 国土緑化運動・ 育樹運動コンクールの結果

県コンクール上位作品を（公社）  
国土緑化推進機構が開催する全国  
コンクールに応募しました。

## 国土緑化運動・ 育樹運動コンクール ポスター原画の部

国土緑化推進機構理事長賞  
播磨町立播磨中学校  
2年 佐伯 和香さん（応募時）



## ポスター原画の部

### 小学生の部1席



朝来市立生野小学校  
6年 楠 歩優花さん（応募時）

### 中学生の部1席



播磨町立播磨中学校  
2年 佐伯 和香さん（応募時）

### 高校生の部1席



並木学院高等学校  
3年 佐伯 優衣さん（応募時）



## 「緑の募金」にご協力をお願いします



### ご寄付 の方法

ご協力いただく募金は、金額の多少を問わず次の金融機関へ振り込みをお願いします。

- **郵便振込**

郵便振込の場合、公益社団法人兵庫県緑化推進協会に直接お問い合わせ下さい。専用の払込取扱票用紙をお送り致します。（手数料不要：協会負担）

- **銀行振込**

口座：三井住友銀行兵庫県庁出張所  
普通 3198438（手数料必要）  
名義：公益社団法人 兵庫県緑化推進協会

### 募金運動の期間

**春季 3月1日～5月31日**

**秋季 9月1日～10月31日**

公益社団法人 兵庫県緑化推進協会 〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5丁目5-18

TEL 078(341)4070 FAX 078(341)4071  
URL : <http://www.hyogo-green.net/>

